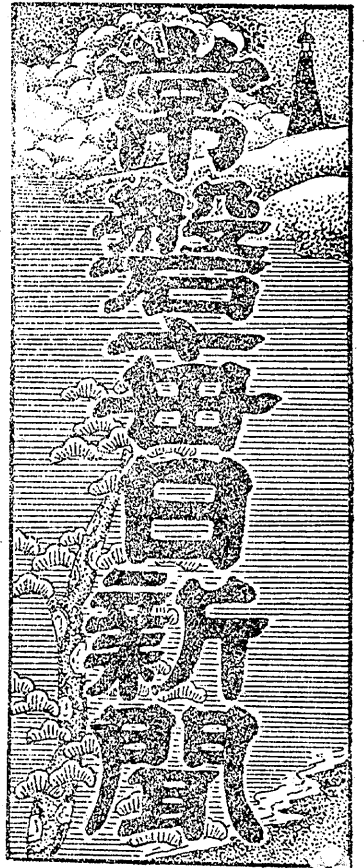


【刊夕】日一十月二十

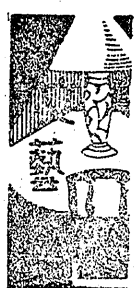


原五銀郵錢十五月一 錢貳金部一 價定
錢十五行一語字三十號五 料告廣
治 文 崎 川 人 刷 印 人 輯 兼 行 發
五三町橋長町平郡城石縣島福
番〇三六話電 社聞新日每警常 所行發
社會式株刷印日每警常 所刷印

プットスーゴ

謡曲に「巻絹」といふのがある。時の帝が靈夢によつて諸國から千疋の巻絹を熊野權現に納めさせた。その時都から着く筈の巻絹が大變着したので官人が怒つてその持人を縛めた。所が其處へ一人の巫子が出てきて、その持人が遅れたのは音無の天神様へ參詣して作つてゐた爲めだといふ。役人はこんな卑しい者が歌など詠むべき道理がないと疑ふので然らばといふて「音無しにかつ咲き初むる梅の花匂はざりせば誰か知るべき」とやつた。其處で疑が晴れて縛めを解かれたといふのである。この謡曲を讀んでゆくと「一首を詠すればよろづの惡念の遠ざかり天を得れば清く地を得れば安し」とか「されば天笠の波羅門僧正は行基菩薩の御手を取り、靈山の釋迦の御もとに契りて真如朽ちせず逢ひ見つと詠歌あれば御返歌に伽毘羅衛に契りと事のかひありて、六珠の御歌を拜むなりと互ひに佛々と顯すも和歌の徳にあらずや」な

どといふ文章が出て来て、大變な所に和歌の徳を稱されてゐる。私が臍の緒切つて初めて拜見したお能がこれである。この方面にひどく熱心な友人が歌をよむ程の人は能位拜見しておかねばいけないといふ持論から大枚五圓を奮發して私の蒙を啓ひてくれるといふのである。私は折角なので行李の底にしまつて置いたセル袴のくしやくしやくになつたのを着けて出かけたのである。その時能といふものは袴をつけて拜見するものだと教へられたから。何でも最初に素面の男が出て来てセリフを言つたのを覚えてゐる。その内に次第に登場人物が殖えてくるが何しろ文句が聞きとれないので私は一鉢どういふ事だか中々分らない。然るに隣席の友人は舞臺を見つめたまゝ硬直して時々口の中で舞臺の人物の謡曲に合したりする。私は足が痺れるので時々尻の位置を左右の踵に移動さねばならなかつた。その度にならりの友人の端正な横顔を瞥見しては電氣に打たれた様に両手を膝頭にあてゐる。何の事はない狂言のワ



夢の花

築けどもきづけどもなほくづれゆくこの砂の塔思ひ出に似る
かへらむとする心をばいつこまで誘ひ給ふやひかるゝや我
行きすりの子と見給ふな御ひねにとはにすむべき我ならねども
變りなきこそあはれなれさゝやくも千里はなれて書く言の葉も
わがむねにもゆる血汐のしたゝりかこの紅薔薇の色の赤さよ

旅館 一力
浪江驛前

正確+メガネ
無料検眼
各眼科院御用
町田平店計時本根
番七〇六話電部鏡眼本根

専門 内科一般
宅診 内科は何でも診療致します
往診 呼吸器病ばかりではありません
平町南町六五(元大和田耳鼻院跡)
川井内科診療所
醫學士 川井重之
女醫 川井安子
電話一八一番

専門眼科醫師擔任
無料検眼 無料検眼券 御利用下さい
信用アリ正確味萬點ノ時計
御客様本位ノ眼鏡部
常盤屋時計店 電話三三九

嚴冬 征伏の王者
△ストーブは
フクロクストーブを御選定下さい
一、最も安い石炭で最も良く燃えるストーブは
フクロクの右に出づるものはありません
二、石炭商の立場より各種のストーブを厳密試験の結果
始めて理想的フクロクストーブを見え出しました
御希望の方へカタログを持參して御説明申上ます何卒御下命を……
平町車場前
福島縣總代理店
阿部石炭商店

平地方の

米價の下落

亂賣防止宣傳も

何等の効果もなく

四等米一畝十二三圓台

石城地方の米相場は過般高値氣配にあつて一時は十一月十日前後の最低一畝四等十二圓八十錢に比すると一畝一圓五六十錢高の十四圓三四十錢までに取引されたが

昨今は また、下り坂となり九日平町における現在の相場は四等一畝十三圓六十錢であつた近々一ヶ月以内に一俵で七八十錢も高くなり今度は反對に七八十錢も暴落する等の急變動を齎した原因は要するに政府の米買上げ説にあるもので農家としては何時

買上げ るか先の知れないものを今更賣惜しみでもあるまいから決算期を控へたる今日幾らでも賣つた方がいゝとどしどし手放したため一時買上げ説で高値を示したものが忽ち下向きとなり再び十二圓臺から十三圓臺を往來するに至つたものであるが地方農會あたりではこの

歳末に 向つての投げ賣りを恐れ盛んに防止宣傳をなしてゐるも事實賣らねばその日を暮らせぬ一部農民達は泣く泣く亂賣投げ

大小炭礦では出送炭制限の折柄ではあるが歳末に迫つた今日一面失業者救済を加味してこの需用期を有利に展開すべく各礦とも男女坑夫難役をどんぐりと募集使用する模様である

人命救助表彰 石城郡平町字大町鐵工職木田四郎(○)並に同町紺屋町自動車運轉助手加藤武男(○)の兩名は去月二十一日午前十時頃同町南町小林將夫(○)が過つて同町内新川に轉落溺死せんとしてゐるのを發見協力して救助したので十日付を以て小柳知事から人命救助で表彰された

五十名採用

警炭高坂坑

石城郡内郷村警炭高坂坑ではさる十日同坑々夫並に難役夫五十名を採用する事となつたが警炭地方の各

某銀行の信用を

傷けて流布

平署俄に緊張し

昨日來取調開始

昨今某銀行平支店の信用に關し種々流言を披つた者あり其筋としても經濟界に動搖を來さしむるが如き流言蜚語を嚴重に取締る方針の折柄である爲め數日來平警察署特高課は頗る緊張し流言の出所捜査に着手し昨日は湯本町の新聞配達夫、本日は某組合の事務員を平署に召喚とく高課室に於て極秘裡に取調べを進行せしめて居る

平町の淨水道路

好間村と交渉成る

石城郡好間村大字中好間地内字田中より上野原平町上水道淨水池に至る地區の村道改修は平町と好間村との間に交渉中の處九日兩者の關係者が好間村役場に會合協議の結果延十二百三十七

十二日會講

南米事情其他

平町十三日會は十三日午後七時からマルトモビル樓上に於て開催、平町出身のブラジル渡航者として本紙に屢々通信を寄せた岡部辰雄氏の嚴父岡部吉次郎の「南米ブラジルの近況」と題する講演及び醫學士松永憲一氏の「輸血療法に就て」がある由

平驛前の街燈を折る

慌て自動車

石城郡内郷村佐藤自動車部乗合自動車運轉助手猪狩八郎(○)假名は十日午前九時頃平驛前廣場において自動車の方向轉換をする際同驛用の高さ三間餘の四燈付の大街燈に衝突し同街燈を中途から折損した、平驛事務所で損害取調中

四倉消防検閲

四ツ倉警察署管内消防検閲は去

る九日より左の日割を以て執行中である
九日大浦村 十一日草野村 十四日久之濱町 大久村

相馬たより

相馬農蠶學校大道大會に於ける優勝組は白組であつた
相馬郡鹿島小學校長大橋彌太郎氏は補習學校生徒四十六名に劍道精神教育奨励のため平安竹刀一本宛贈與
半谷商店主は相馬中學の出身で嚴父が神官たるを以て三ヶ年間神職の列にありしが神職間の腐敗を嘆き此程中村町大で先に雜貨商店を開き日淺しと雖も顧客門前市をなすと相馬郡上眞野村役場議事堂に於て原町蠶種豫病所

自動車事故

届け出でず

石城郡平町南町芹澤正忠方雇自動車運轉手、松崎正明(○)は去る一日午前十一時石城郡上小川村縣道を客四名を乗せて進行中平町菊地喜市所有の乗用自動車が停止して居るのをさけて運轉せんとして過つて深さ三尺ある堀に墜落して助手鈴木利一(○)は窓ガラスのため頭部を負傷せるに右の事故のあるのを所轄署に届出でぬ事實發覺して昨日告發された

原町支所長原乙彌氏臨席 低利資金貸附協議會開催 會する者三十名にして原氏は割當協議と桑園解釋問題に付懇切説明した

平町人事

△新川町二 草野金作氏四男遊平
△四丁日八 福田源太郎氏四女アイ子
△村木町一六 吉野親一氏二女シツ子

新年文藝懸賞募集

初春の紙飾を 締切 十二月廿日 宛名 本社文藝部

和歌「羊」 一人各 高久晚霞氏選
「山」 三人各

俳句「春着」一人各 渡邊何鳴氏選
「若菜」三句限

童謡「正月」二人 川崎小鳥氏選

詩「隨意」二人 片寄歌二氏選

短歌「光」一人 白木英尾氏選
五首限

●投書には「新年文藝」と種目とを必ず明記すること
●入賞者を一名 二名 三名
●三等三名に分ち各賞品を呈す

靈藥ムテキ

ゆひはれ、やけど、淋病 梅毒、さきまづ、乳はれ 梅毒、さきまづ、乳はれ 其他化膿するもの一切

阿康藥舖

古鍛冶町(縣社下)電話四四番

レメドール

米國製藥 (無臭) 有偽物要注意 丹波博士創製 セキトメ

休校決議の眞因は ネコソウ動

校長談は少々 見當が外れた

▽先づ生徒等の談を聞け

既報警城中學校同盟休校決議問題に就いてはその後何等の動搖を見ず表面頗る平穩の如く見られてゐるが裏面に於いては種々複雑した策謀も行はれてゐるらしくいつ如何なる時

重大化

しないとも限らない模様である、因に今回の問題の中心とみられる生徒等は交々語る「橋本校長は野營云々といふ事でも私どもを甚だ意久地ないものゝやうに言つてゐるやうですが、野營なんかは寧ろ技業の事で直接の

原因は

三學期の授業時間を毎日五時間とした事と校長の席次を何故一般轉校生同様に取扱はないかといふ事でありませ

卒業期は目前 輕舉盲動を戒む

速かに根元解決を望むと
一有力者は語る

既報警中一部生徒の動搖に關して平町一有力者は語る「どうも困つた問題で生徒側の言ひ分などを聞いてみると未だすつかり解決したと思はれず我々

の生徒に落ち着いて勉強出来るように致すべきであらう
又生徒にしても新校長の人格に信頼して荷も輕舉盲動の無いやう殊に卒業期を前に控へてゐるのであるから呉々も自重を望んでやまない

錦村老婆殺しは 豫審の事實動く

証人等の申立てが 何れも被告に優利

石城郡錦村大字仲田助川春治(一)假名に關する殺人強盜、婦女暴行事件は既報の如く第一回公判廷にて被告春治が豫審廷、檢察、警察の取調陳述を全部翻したので平支部では八日、九日兩日に亘り中島、關口、山本各判事、武田檢察、永野辯護士等とともに再

實地檢證 を行つた兩

日は證人として植田署安田刑事、齊藤巡查部長、助川仲吉、金成茂雄、坂本カツ助川スミの取調を行つた結果物的證據中ゴム底足袋は犯行と何等の關係なきこと預金通帳を拾つたことも全然虚偽であること等證人の申立によつて明かになり檢事、豫審廷の

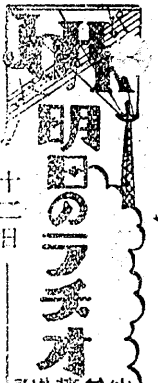
經塚の發掘騒ぎに 妙なるあざむき

問題の天津教主代理が 視察した事がある

既報石城郡草野村大字泉崎猪狩金之助氏所有の山森地内の「經塚」が數日前何者にか發掘されたが同塚は高さ約二間の小岡で發掘場所は徑四尺に深さ一丈三尺を掘り下げ

不良兒橫行 好間村附近に

石城郡好間村附近に最近不良少年團が横行し脅迫、無錢飲食、暴行等無警察の振舞を各所で行ひ被害は相當あるので平署は近くこれ



明日のラジオ

報豫氣天
今晩は北東の風が西に變り幾分良き方に向ひ明日は北西の風小雪模様

- 前七、〇〇 ラヂオ体操
- 前九、〇〇 氣象通報
- 前九、一〇 料理献立「小田卷蒸」鈴木真子發表
- 前一〇、三〇 講演「明るい生きた聲」青木兒
- 正午 時報
- 後〇、〇五 琵琶「加藤清正」田村旭都
- 後一、〇〇 經濟市況
- 後一、五〇 婦人講座「教
- 後二、〇〇 ニュース

- 育の上に見る徒勞と充費
- 市川源二
- 後三、四〇 氣象通報
- 後四、〇〇 ニュース
- 後五、〇〇 講演「臺灣生蕃人の話」終講 淺野慶郎
- 後六、〇〇 (子供の時間) 童話劇「ジャンバルジャン」白鳥座
- 後六、三〇 英語講座「初等科」(三三)岡倉由三郎
- 後七、〇〇 ニュース

國家の干城だと ガン張り過ぎて 入營兵引致さる

石城郡好間村北好間中好間中澤政雄(三)同村國島勉(二)の兩名は壯丁檢査に合格入營することとなり九日村主催で送別會を催した際國家の干城だから何をしても處罰されぬとばかり同村小田炭坑の坑夫菅野直衛(三)を棍棒で毆打し重傷を負はせたので平署に引致し目下取調中

草野村 消防揉む

石城郡草野村消防組頭鈴木喜三郎氏は過般同武徳會の寄附金二十圓を個人の名義で消防組の積立金から支出したと某有志間に發覺した九日同氏に對し辭職を勧告したが容易に應じないので反對派では新妻幸三郎氏を推薦し飽くまで對抗する状態で成り行きを注目されてゐる

後七、二五 交響講座「日本の芝居はどうなるか」東北帝國大學法文學部教授小宮豊隆

- 後八、〇〇 喜多流謠きよ
- 「經政」シテ柴田政太郎
- ワキ東海林文之助 地唄 柴田幾藏 地小山田芳隆 同柴田長藏
- 後八、三〇 哥澤 一わがもの、二わし國 唄哥澤 芝加へ松 三味線哥澤芝 壽春
- 後八、五〇 浪花節「菅谷半之丞」木村重友
- 後九、四〇 時報 全國ニ
- ユース 氣象通報 番組 豫告 告知事項



東京 橋場射撃

米田安藏(其五)

お千代は深川橋場の一件に就ては、格別何とも思つて居なかつた。

スルト中一日置いた次の日、下ツ野の金太と云ふ深川で小料理屋をして居る男が飛込んで来た。

「親分今日は……」

「オ、金太か」

「何うです今年の暑さは、最り入さくたと云ふのに、是れぢやアやり切れませぬね」

「珍らしい暑さだ、襟はねへかからぬれ」

「済まねへが、水を一杯冠らせ」

「お呉んなせへ」

「お、御免なせへやしよ」

「あ、襟はずし戸端へお出で、ゆかたを出して遣らう」

「夫れぢやア恐れ入りやす」

金太は驚愕から井戸端へ飛出し、衣類を脱いでアアア水を浴びて居る。

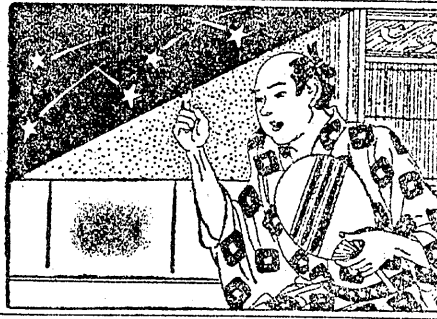
茶の間から驚駭を感して、腰刀の鞘から、金太の腰姿がチラ／＼見える。其腰姿を見て急に思ひ出したのは、高橋の死の事だ。金太は同じ深川に居るのだから、検視の模様を聞いて見れば、親分のゆかたを借りて着込み。

「何うも有難うございした、是れで生返つた様な氣になりやしたよ、汗になつた時には是れに限りやすよ」と感に就く。

「金太、何か面白い事でも見付かつたか」

「え、ッ面白うなものを持つて来たので……」

「然うか、夫れは御苦労、オイ、徳松、金太に密湯でも持込所に入殺しが在つたんでね」



「ナニ人殺し……」

安藏は驚きを隠さず、少し前目になつた。

お千代は的切り高橋の上の一件だと思ひ、此方で聞かうとしたのを、胸から言出すは都合が好い、めし何か聞んだ事があつたのだらうと、微笑を会んだ。

「私共と同じ町内に山屋と云ふ居酒屋があるんですがね」

「ウム山屋か、知つて居る、あそこは矢太殿に似合ねへ、好い酒を呉れる家だ、一人者の爺い、却々如才な奴でな」と安藏は直に調子を合せる。

「親分の話をスラ／＼と引出すのが、アツツの上手なところだ、甚にも夫れが用ひられた。

「親分が御承知なら話は早いや、彼の爺いさんが殺されたんでげすぜ」

「彼の爺いが、何の爲めに殺されたんだ、殺した奴は……」

安藏は大層驚かされたが、お千代は聊か當が外れた。

「アア殺した奴はねへんでけす、夫れがおと、ひの朝の朝ですがね」

「おと、ひと云やア、二十六日の朝だやア」

「ヘエ、彼の星が降るやうに飛んだ、おんな事があるものだ、何か星は大きな間違ひが出るやうに世間で聞いた、彼の明くる日の朝に、星が飛んだのがさうさうさうさうに成つちまつたんでせう」

「馬鹿ア言へ、居酒屋の爺いが殺される位な事で、星が飛ぶと云ふ程の前で、うが有るものでねへや夫れから何うした」

「御説が下り、佐賀町の木酒の親分が出張つて、親分は小金を溜込んで居る、是れは多分親分に見舞はれ、彼れ争つたからやられたのだ、人に恨みを受ける爺いでねへから、彼の仕業に違ひねへと言つて、其手配りを付けて居るのですが、私が一寸見た事があるんで、夫れで親分のところへ相談に来たのでございませう」。

て總は命用御の物刷印

番〇三六話電 會社刷印日每警常

丸昌

緊縮時代 實質本位 精撰食料
薄利多賣 吟味調理 多量購買 経費節約

尖端宴會 宴會 銚子品付
半宴會 銚子品付
三品供

ホール建設一週年記念出前
惣菜部開設

ガレライス 一〇 コロッケ 一〇
ハヤシライス 一〇 魚フライ 一〇
チキンライス 一五 カツレツ 一五

丸昇軒
電四三九

杵壽司の

煮おでんと
御料理で

是非一杯召上れ
(鮭の種は常に色々
取揃へてあります)

電六七九番
出前迅速

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科

平南町(舊診療所)電話一七〇番

大和田醫院

江戸前料理
江戶 天ふら
趣味の 天井
ゼヒ一度御試食下さい……

出前迅速 錦
田町末廣東隣 (電話四二二番) 水

鐵道省御用

金光堂時計店

平五丁目
電一九五

吉田眼科病院

平紺屋町、電話六八番

吉田眼科病院

平紺屋町、電話六八番

御婚禮用品特賣

最新柄を豊富に取揃へて江戸襦・丸帯・御紋付。袴

江戸襦下着丸帯仕立上り

松五十圓。竹八十圓。梅百二十圓

七五三祝着特賣

尺三丸帯。錦紗友禪。富士絹友仙。モスリン友仙各種

三井の超特賣品

着尺モス新柄	二圓五十錢
友仙モス上生地一丈物	七十五錢
新モス友仙半反	三十五錢
甲斐羽織裏絹	一圓五十錢
レイヨソ羽裏	五十錢
白時ネール一丈物	五十錢
新柄ネール一丈物	八十錢
三井の特製足袋壹萬足限り	
白キラコ一足十錢 絹天一足五錢 黒朱子一足三錢	

平町 三井吳服店
電話三八番 二八四番

十二月十三日ヨリ 十九日マデ

御婚禮用品特賣

最新柄を豊富に取揃へて江戸襦・丸帯・御紋付。袴

江戸襦下着丸帯仕立上り

松五十圓。竹八十圓。梅百二十圓

七五三祝着特賣

尺三丸帯。錦紗友禪。富士絹友仙。モスリン友仙各種

三井の超特賣品

着尺モス新柄	二圓五十錢
友仙モス上生地一丈物	七十五錢
新モス友仙半反	三十五錢
甲斐羽織裏絹	一圓五十錢
レイヨソ羽裏	五十錢
白時ネール一丈物	五十錢
新柄ネール一丈物	八十錢
三井の特製足袋壹萬足限り	
白キラコ一足十錢 絹天一足五錢 黒朱子一足三錢	

平町 三井吳服店
電話三八番 二八四番

阿康藥舖

一手特約店 阿康藥舖 (電話四四番)

淋病治療書數十頁の美本無代進呈

藥價(急性)慢性頑固惡性用(赤箱)一週分五圓

平古 鐵治町 (電話四四番)

御待ち兼ねの別府淋藥が着荷致しました、リン病やコシケに苦まる一方は一日も早く試して全快のよろこび見て下さい

無効返金藥(二日のんでキ、メなき時)無効返金證

岩里 コシケ病 別府淋藥 服用者大好評

別府温泉で名高い岩里家の家傳秘藥

人達はせの賣藥の如き中に別府市中(岩里天然堂大藥房發賣)のリン藥は古來家傳秘藥にして男女血ウミ痛、コシケ、消渴、二日でも止り連服するも絶對胃腸障害なき名藥である、尙同業は責任ある速効藥にして二日以内服効なき時は殘藥引替に全部異議なく返金す急性慢性惡性治らぬ人は七日のまれよ申込次第新品送呈す